

同種造血幹細胞移植後における早期 GLS 変化による 心イベント発生予測の解析

1. 研究の対象

2021 年 2 月から 2023 年 10 月に当院で同種造血幹細胞移植を受けられた方。

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的: 造血幹細胞移植後の心血管合併症は、患者さんの予後や生活の質に影響を与える重要な問題です。特に近年普及している PTCY 療法では、心毒性との関連が報告されています。本研究では、心エコーを用いた新しい指標である Global Longitudinal Strain (GLS) が従来の血液検査などよりも早く、精度高く将来の心イベントを予測できるかを調査します。これにより、心血管リスクの高い患者さんを早期に特定し、適切な予防・治療介入(血圧管理や心保護薬の導入など)につなげる指標を確立することを目的としました。

3. 方法

移植前および移植後の心エコー検査結果(GLS, LVEF)、血液検査結果(BNP, トロポニン I)、および移植後の心血管イベント(心不全や不整脈など)の発生状況を解析します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、診断名、移植時の年齢、性別、心エコー検査データ、血液検査の検査結果(BNP, TnI など)、心血管イベントの発生有無および時期など

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 血液内科 松岡 慶樹

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 血液内科 松岡 慶樹

-----以上